

2014年度環境会計

【集計範囲】(株)モスフードサービス(本社、事務所及び直営店) 【対象期間】2014年4月1日～2015年3月31日
 【参考】環境省環境会計ガイドライン(2005年版)

2014年度は、書面による内部監査の確立など環境マネジメントシステムの効率化を進めた結果、管理活動コストが削減されました。資源循環コスト減も、食品廃棄物発生抑制に努めた結果と考えられます。
 店舗の電気使用量は、売上増に伴い使用量が増えたため、経済効果が大きく増加しました。

環境保全コスト

単位:千円

分類	主な取組み内容	投資額	費用額	増減額(前年比)		
				投資額	費用額	
① 事業エリア内コスト		17,596	87,781	6,659	▲ 3,745	
内訳	①-1 公害防止コスト	排水設備投資 下水道料金の支払	15,606	44,265	5,351	2,005
	①-2 地球環境保全コスト	空調機・LED照明設備投資 省電力機器保守	1,990	3,551	1,308	35
	①-3 資源循環コスト	事業系廃棄物のリサイクル及び廃棄処理	0	39,966	0	▲ 5,785
② 上・下流コスト	容器包装リサイクル協会費用	0	1,567	0	▲ 162	
③ 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの運用・教育・環境情報の開示	0	49,906	0	▲ 10,538	
④ 研究開発コスト	環境保全に資する店舗設計並びに実験店舗の構築	140	917	140	▲ 372	
⑤ 社会活動コスト	コミュニケーション・社会貢献活動	0	1,383	0	115	
⑥ 環境損傷対応コスト		0	0	0	0	
⑦ その他のコスト		0	0	0	0	
合計		17,736	141,553	6,799	▲ 14,702	

(株)モスフードサービス(単体)決算数値(2014年度)

投資額の総額	1,626,866	千円
研究開発費の総額※注1	40,366	千円

※注1:環境保全コストの「④研究開発コスト」は含んでおりません。

環境保全効果および経済効果

環境保全効果の分類	環境保全効果を表す指標					削減量 (前年比)	経済効果 (前年比) 単位:千円
	項目	単位	2013年度	2014年度			
①事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量〔本社・事務所〕※1	◎ 千kWh	409	518	▲ 109	▲ 2,752	
	電気使用量〔直営店〕※1	◎ 千kWh	8,908	9,395	▲ 487	▲ 12,283	
	都市ガス使用量〔本社・事務所〕※2	◎ 千m ³	2	2	0	2	
	都市ガス使用量〔直営店〕※2	◎ 千m ³	261	274	▲ 13	▲ 1,877	
	LPガス使用量〔直営店〕※2	◎ 千m ³	41	29	12	3,464	
	水道使用量〔本社・事務所〕	千m ³	1	1	▲ 1	▲ 214	
	水道使用量〔直営店〕	千m ³	101	108	▲ 8	▲ 3,279	
	空調エネルギー〔本社〕	◎ GJ	1,832	1,666	166	585	
	コピー用紙使用量〔本社・事務所〕	千枚	1,830	1,901	▲ 72	33	
	CO2排出量(◎を換算)	t-CO ₂	5,111	6,314	▲ 1,202	-	
②事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	事業系一般廃棄物〔本社・事務所〕	t	6	6	0	76	
	倉庫廃棄物処分	t	387	233	154	6,638	
経済効果合計						▲ 9,606	

<CO2換算係数>

改正省エネ法の換算係数を元に作成しています。

※1 電気:(2013年度)=電力各社発表の2012年度調整前の係数、(2014年度)=電力各社発表の2013年度調整前の係数

※2 ガス:都市ガス(2013・2014年度)2.23kg-CO₂/m³

:LPガス(2013・2014年度)3.00kg-CO₂/kg *重量換算0.502千m³/t *単位発熱量(2013・2014年度)50.8MJ/kg

環境会計作成にあたって

- ・環境保全コストの増減額の▲は、減少額を表しています。
- ・環境保全効果および経済効果の▲は、共に増加量、費用増加額を表しています。
- ・複合コストの計上は簡便な基準による按分集計を採用しています。